

図画工作科学習指導案

三次市立甲奴小学校
指導者 藤井 知子

- 1 学 年 第6学年 14名
- 2 場 所 6年教室
- 3 題材名 なりきりアート～そして名画に入ろっ！～ 【領域】「みる」「かく」
- 4 題材について

題材観

本題材は、小学校学習指導要領に示された次の目標と指導内容を受けて設定した。

	第5学年及び第6学年の目標	第5学年及び第6学年の指導内容
A 表現	(2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。	(2)イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。 (2)ウ 表したいことに合わせて 材料や用具の特徴を生かして使うとともに 表現に適した方法などを組み合わせることで表すこと。
B 鑑賞	(3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にするようにする。	(1)ア 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じとること。 (1)イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、表し方の変化、表現の意図や特徴などをとらえること。
【基礎】	ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	

本題材は、これまでに児童が鑑賞してきた名画や、学んできた鑑賞の仕方を生かして探し出した名画をもとにして想像をふくらませ、新たな作品をつくり出す学習である。名画の特徴を生かしながら、自分の願いや夢をつけ加えて「自分の名画」をつくっていくことを計画している。

児童は、名画を十分に鑑賞したあと、名画自体（部分 or 全部）を背景に、構想を考え、自分を取り入れる作業をしていく。その際「かきたす」形をとると取り組みやすい活動になるかと考える。背景となる部分は、模写をしたり、ちぎり絵的に貼る作業をしたりするなど、身近な材料で表現をアレンジしたりしてもよいとする。鑑賞の授業を考えると、模写は一つの手段ではあるが、ただ単に模写で写し取った作品だけでは、一人一人が感じた思いを十分に汲み取ることはできないと考える。模写をすることにより作品の表面に現れないものを想像し、内側に潜んだ作者の思いや 隠された表現のようなものを探っていくことが大切であるとする。

また、遠近法による奥行き、色彩の対比による空間、枠からはみ出して広がりだした次元など、みているだけでは感じられなかった様々なことをこの題材を通して発見することができると思う。

本題材で児童に「つけたい力」は次の通りである。

- ・世界の名画に関心をもち、著名な画家の作品や友人の作品について話し合い、特徴をとらえたりよさや美しさを見付けたりする。 【感じる力】
- ・鑑賞したお気に入りの名画をもとに、自分なりの作品を効果的に画面構成をする。 【考える力】
- ・表現したいことを身近にある材料を生かして表す。 【かく力】
- ・名画から感じたことや自分の作品の工夫などを友人と対話し合う。 【みる力】

児童の実態

本学級の児童は、これまでに地元の美術館の展示作品や教科書の中の絵、パワーアップタイムでの名画の鑑賞など、様々な絵をみてきている。社会科の歴史学習における室町時代の雪舟の作品や、修学旅行の際に二条城でみた狩野探幽の大作、江戸の町人文化であった浮世絵などには特に親しんできている。児童は、名画に対する興味・関心は高いが、本年度に入って和のものが中心となり、海外の作品にふれる機会は少なかった。

そこで、インターネット等を利用して様々な美術館が公開している絵を探したり、図録などを用意したりし、自分が興味をもてる絵を見つけて鑑賞活動を行う。そこから湧き出た自分なりのイメージをもとにして作り出す活動に対して、意欲はさらに高まるのではないかと考えられる。

本学級の児童は、1学期の「エリックカールの弟子なろう」というコラージュ活動を行った。自分なりの感じ方や見方が育ち、一人一人の表現の特性や個性が目立ち始めてきたように思う。また手などの動きにも巧みさが増し、存在感のある材料や手ごたえのある活動に興味を示し挑戦するようになってきている。

本題材は、児童がそれぞれに魅力を感じた画家や名画に自分の思いをこめて近づこうとする面白い活動になることが予想される。

指導観

指導に当たっては、次のような手立てを講じていきたい。

〔感じる力、考える力を育てる手立て〕

まず初めに『墨 de 和っとカラー?』の題材で、水墨画（雪舟）の模写体験学習をさせておく。そして、色つきの名画をきっかけにして自分なりの世界や話をつくるか、その名画の特徴や技を真似るかのどちらかを選ぶこととする。アートタイムも利用して鑑賞作文や、構想メモをさせ、感じたことを表現させていきたい。

〔かく力を育てる手立て〕

「すてきな絵だな。」とは感じられても、模写に入るとその難しさに挫折することも予想される。そこで、形のとらえの難しい場合は混色を工夫して原画に近い色をつくることを努力させたり、必要に応じてローラーやブラシコンテ、クレヨンなどを利用し、自分らしい画面を表現させたりする。混色が苦手な児童は、布や段ボールや包装紙や自作色紙（1学期学級で作ったもの）などを貼り付けても良しとする。コラージュの学習でした半立体的な表現もあることを提案する。さらに、下がきの段階でつまづいている児童には、画用紙大の原画コピーを用意しておき、模写への抵抗を少なくする。

〔みる力を育てる手立て〕

児童が気に入った絵をスムーズに見付けられるように、インターネット検索用のアドレスのリストを作成したり、ネット以外に、図録も用意したりする。作品については自由に選択させ気に入った理由や選んだ理由をワークシートに書かせておく。選定した後は、ルックルックタイムを設け、児童それぞれの構想を交流させたい。

児童が、表現の楽しさを味わいながら粘り強く取り組めるように、自分が名画の中にいるとしたらどんな感じがするかという新構想の視点をもたせ、イメージを膨らませながら鑑賞させるようにしたい。

5 題材の目標

出合った名画の中から気に入った作品について解説し、イメージを広げ、新たに盛り込んで仕上げた「自分が入った名画」について豊かに表現して友人に伝えることができる。

6 題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度(感じる力)	イ 発想や構想の能力(考える力)	ウ 創造的な技能(かく力)	エ 鑑賞の能力(みる力)
多様な名画に興味や関心を持ち、楽しみながらお気に入りの作品を見付けようとする。	空想や夢などの思いをイメージして、材料や表現方法を生かす構想を練る。	表現したいイメージになるように、適した色や材料を選んで工夫する。	名画から感じたことや工夫したことを自分の言葉で表し、友人に伝える。

7 指導と評価の計画(全8時間)

次	学習内容 (時数)	評 価					
		ア	イ	ウ	エ	評価規準	評価方法
一	お気に入りの名画を探し、自分なりの鑑賞をまとめる。 (1)					・世界の名画に興味や関心を持ち、作品を楽しみ、よさや美しさを見付けながら、自分のお気に入りを選ぶ。	ワークシート
二	なりきりアートの構想を練る。 自分が入った絵を描く。 (6)					・盛り込みたい自分の思いをイメージして、材料や表現方法を生かす構想を練る。 ・表現したいイメージに適した色や材料を選んで工夫してかく。	作品
三	画廊『輝』でギャラリートークをする。 【本時1】 (1)					・名画から感じたことや自分の表現の工夫などを、自分の言葉で表現し、伝え合う。	発表・ワークシート

8 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ギャラリートークを行い、名画から感じたことや作品に盛り込んだ自分の思いや考えを対話し合う。

(2) 本時の評価規準

名画のよさや美しさの中に描いた友人の作品のよさや思いをとらえている。【鑑賞の能力】

(3) 準備物

- 〔指導者〕ギャラリー風教室内掲示板・名画の拡大コピー・電子黒板表示
- 〔児童〕児童の作品(掲示板)・アートフォリオ

(4) 学習展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法) 支援を要する児童への手立て
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <div data-bbox="376 636 1136 739" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 画廊『輝』へようこそ ギャラリートークを楽しもう！ </div> <p>2 鑑賞文と紹介文をまとめたものを、ギャラリー・トーク風に対話し合う。</p> <div data-bbox="178 909 580 1312" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは歌川広重の「阿波鳴門之風景」を模写しました。この絵の中で、私はサーフィンをしています。大渦の前で記念撮影をしています。 ・波といえばサーフィンを連想したので、波乗りをする自分を絵の中に登場させました。 ・大渦や大波を表すのに苦労しました。 </div> <div data-bbox="178 1435 580 1823" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・波のようすを細かく丁寧に描いているのいいと思いました。 ・さんが、3回もかき直しているのを知っています。波の色を苦労して出したんだと思います。 ・なぜ、サーフィンをしているのですか？ ・波乗りをしている さんの表情が楽しそうです。 </div> <p>3 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書く。 	<p>指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ所で一度にギャラリートークをさせる。一人4分間で5回行わせる。後半は自由トークタイムにする。 ・自分の作品を説明する際は、「身振り手振り」のトークを心がけさせる。 ・聴く側は聞き取りシートにポイントメモを記させる。 ・率直な感想や質問も伝えさせる。 ・形や色、物語性など、鑑賞する際の視点を与えて、よさや面白さを具体的に感じ取らせる。 <div data-bbox="612 1256 1027 1464" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友人の作品のよさや美しさを感じ取り、対話を通して一人一人の見方や感じ方を深める。 ・形式にとらわれず、意見や疑問を率直に出し合い、交流する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・対話の様子を見ながら、作品のよさや対話について、児童の意欲が高まる言葉がけをする。 「あなたらしさが出ていたね。」 「やってみたいことが表せたね。」 「このあとの展開が面白くなりそうな気がするね」等 ・振り返りの視点に沿って、ワークシートに書かせる。 	<p>評価規準(評価方法) 支援を要する児童への手立て</p> <div data-bbox="1083 770 1428 898" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 話の内容で大切なところを選び出し、まとめることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ名画の魅せられたところと、自分の名画のポイントを分かりやすく伝え合っている。 【鑑賞の能力】 (発表・シート) できた作品のよさをたくさん褒め自信を付けさせておく。 トーク文を事前に準備させておく。 <div data-bbox="1083 1464 1447 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 決められた時間で、選んだ理由や自分の作品に込めた思いを伝える。 </div>